

コミュニティパーク事業を経験して

光陽台自治会長 中村信義

私は、昨年4月に自治会長に就任し、平成16年のワークショップ時には、一人の自治会員として参加していました。初めてワークショップというものに参加し、戸惑いもありましたが、参加者みんなが、公園に対する思い入れが膨らみ、意見が分かれたこともありましたが、住民の自らの力で、公園をよくしようと意識が芽生えてきました。



市の予算も限られていることから、住民で出来る樹木整理、剪定、丸太柵の設置、植栽、花植などの作業は、住民で実施しました。

また、ワークショップは、光陽台中央公園についてだけだったのですが、光陽台東公園についても明るく、住民が利用しやすい公園になるよう、住民自ら発案で自ら樹木整理も行いました。

多くの自治会員が何日も集まり作業をしました。作業を通じて高齢化がすすんでいる光陽台自治会でも新たな住民の一体感が生まれた、そんな気がします。

この3月で、光陽台住民と市の協働で行う公園リニューアルの作業が終了します。現在、市の工事も概ね終了し、広々とした広場空間が生まれ、防犯面からも安全で利用しやすい公園が誕生しています。今日では、その公園での人々の交流と新たな砂場に響く子供の声で心が癒されます。

今後、リニューアルしたこの公園を私たちの手で育てていくために、管理していくボランティアグループの立ち上げや広くなった広場を利用したのグランドゴルフの会の立ち上げ、花の会の活動など公園を利用しながら公園を育て、また、住民のコミュニティが広がればと思っています。